

平成28年度 施策評価表

作成年月日：平成29年10月13日

| | |
|---------|---------------|
| 課・グループ名 | 生涯学習課社会教育グループ |
| | 生涯学習課学校教育グループ |

| | |
|-----|------------------|
| 施策名 | ②幼児教育の支援充実 3-1-② |
|-----|------------------|

1. 施策の現状分析及び展開方向

| | | | |
|--------------|---|---|------------|
| 政策・施策の体系 | 大項目 | 中項目 | 小項目 |
| | 3. 地域に根ざした教育と文化の高いまちづくり | (1) 地域みんなで育てる幼児教育の推進 | ②幼児教育の支援充実 |
| ①施策のねらいと展開方向 | <ul style="list-style-type: none"> ●鑑賞の機会を通じて創造性や感受性を育て、幼児の健やかな成長に努めます。 ●町内・外の私立幼稚園に入園・通園する幼児の保護者に対して、経済的負担の軽減を行い就園を奨励します。 | | |
| ②施策の現状と課題 | 現 状 | 課 題 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ●幼児期における教育は、人間形成の上で極めて重要であり、心身の成長や発達過程において大きな役割を担っていることから子ども達の創造性や感受性を高める鑑賞事業を実施しています。 ●町立幼稚園は平成18年度末を以って廃園となり、町内の幼児教育施設は、私立幼稚園の1園だけとなっています。 | <ul style="list-style-type: none"> ●幼児教育機関と連携を図り、鑑賞事業を通じて創造性と感受性を高める機会を充実させる必要があります。 ●幼児教育を進めるため、入園・通園の機会確保とその奨励が求められており、補助基準単価の見直しについて検討する必要があります。 | |

2. まちづくりの成果指標の設定、達成状況

| | | | |
|--------|--|------------------|-------|
| | 設定の意図 | まちづくりの成果指標名 | 数値化 |
| ① 成果指標 | ・私立幼稚園に入園や通園をする幼児の保護者に対して経済的負担の軽減を行うことにより、幼児期における就園機会の確保を図る。 | 成果指標 (総合計画・施策評価) | ○ 可 能 |
| | | 幼児人口に対する幼稚園就園率 | 不可能 |
| | | 代替指標 ※成果指標がない場合 | 未計測 |
| | | | 指標の設定 |
| | | | 可 能 |
| | | | 不 可 能 |

※施策目的(施策の意図)の達成状況を把握するための指標を記載しています。

| | | | | | | | |
|--------|----|-------|------|------|------|------|-------------------------------------|
| ②指標データ | 単位 | 過年度実績 | | | 評価年度 | 目標年度 | 達成率増減の理由 |
| | | H25 | H26 | H27 | H28 | H28 | |
| 目 標 | % | 51.1 | 53.3 | 52.7 | 53.1 | 53.1 | 保護者の就労状況により達成率に変動はあるが、概ね目標値を達成している。 |
| 実 績 | % | 51.1 | 52.6 | 48.9 | 47.0 | 47.0 | |
| 達成率 | % | 100.0 | 98.7 | 92.8 | 88.5 | 88.5 | |

| | | |
|----------|---|--|
| 評価視点 | 評価結果 | 理由、課題・問題点 |
| ③施策の達成状況 | A 計画目標に向けて順調に推移 (目標達成は十分に可能である) B 計画目標に向けて概ね順調に推移 (目標達成は可能である) C 計画目標に向けての進捗はやや遅れている (目標達成が遅れる可能性がある) D 計画目標に向けての進捗は遅れている (目標達成は難しい) | 保護者の経済的負担軽減を継続して行い、就園機会の確保を図る必要がある。 <div style="text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</div> |

